

畜産みやぎ

発行所

名取市増田字柳田379番地 1

法人 宮城県畜産会

電話 (382-8133)

編集発行人 大堀 哲

印刷所 (株)東北プリント



第50回東北鞍馬競技大会 (H 12. 4. 23 涌谷町)

もくじ

- 宮城県及び北海道における口蹄疫の防疫対応について…… 2
- 平成11年度生乳需給状況並びに
平成12年度生乳需給調整対策について…… 3
- 平成11年度家畜共済事業実績について…… 4
- 平成11年度みやぎ総合家畜市場取引実績の概要…… 6
- 平成12年度畜産関係主要行事予定…… 8
- 「ホテル瑞穂寮」…… 8
- 食品廃棄物を利用した豚の肥育試験…… 9
- 豚コレラ撲滅を契機に衛生管理の徹底を！……10
- 新人紹介……10

みやぎの畜産情報発信基地 宮城県畜産会ホームページ

URL <http://cali.lin.go.jp/japan/k04/>

Eメール mygchiku@mwnet.or.jp

宮城県及び北海道における口蹄疫の防疫対応について

宮城県産業経済部畜産課

平成12年3月25日、宮城県において海外悪性伝染病としてもっとも恐れられていた牛の口蹄疫の疑似患畜（再検査の結果、患畜と決定）が確認されました。本病の日本での最終確認は1908年（明治41年）で、畜産関係者等にとっては大きな衝撃を受けました。このような状況の中、宮城県をはじめ各都道府県とも本病のまん延防止に努めてきましたが、5月11日、北海道で新たに肉用牛肥育農家1戸に、宮城県と同タイプのウイルス（O型/JPN/2000株）が検出され、患畜と決定しました。

つきましては、発生地域での防疫措置や本県のこれまでの防疫対応について、その概要を紹介します（平成12年5月19日現在）。

宮城県

1 発生状況

No.1	宮城県宮崎市	1戸	肉用牛肥育	10頭
			3月25日疑似（4月4日真症）	
No.2	高岡町	1戸	肉用牛繁殖	9頭
			4月3日疑似	
No.3	〃	1戸	〃	16頭
			4月9日疑似（4月14日真症）	
計	2市町	3戸		35頭

2 経過及び防疫措置

- 3月12日、宮崎市内の1農家で発熱、食欲不振、発咳などの症状確認。
- 3月21日、宮崎家畜保健衛生所へ通報。農水省家畜衛生試験場で検査。
- 3月25日、口蹄疫疑似患畜と診断。直ちに、発生農場の飼養牛全頭を殺処分、消毒、発生農場周辺の移動制限（半径20km圏内の移動禁止、50km圏内の搬出制限）、家畜市場・食肉処理場の閉鎖、周辺農場や関連農場の立入検査等を実施。
- 4月3日～9日、周辺の疫学調査により、2農家で抗体陽性牛を確認、疑似患畜と診断。飼養牛全頭の殺処分を実施。20km圏内の移動制限期間を3週間延長。
- 4月26日現在、約14,300戸の立入検査及び約24,000頭の血清検査終了。移動制限の一部解除（半径10km圏内に限定）。
- 5月2日、立入検査等により新たな発生が確認されず、移動制限を全面解除。家畜市場等の再開等。
- 初発農場では、中国産麦ワラを給与していたが、因果関係は特定できていない。

3 宮城県における対応

- 3月25日、国からの発生通知及び全戸全頭検査の指示を受け、家畜保健衛生所、畜産関係団体等へ通報。
- 3月26日、家畜保健衛生所長らによる緊急家畜衛生対策会議を開催。正確な情報の伝達、関連情報の収集、農家の立入検査等を指示。
- 3月31日、移動等の禁止の告示（宮城県知事）。発生にかかる移動制限地域（半径50km圏内）から県内への移動禁止。
- 5月2日、立入検査及び疫学調査等により異

常は認められず、家畜の移入制限を全面解除。各関係機関や関係者に周知。

(5) 5月11日現在、

- ①防疫連絡会議の実施状況：27回（県7回、家保20回）
- ②生産者、関係者へのチラシ配布等による情報提供：263回
- ③情報収集、立入検査等ほぼ終了（獣医師等からの情報収集戸数9,226戸、家畜保健衛生所による立入検査戸数2,940戸、計（延）12,166戸）。

なお、平成11年4月から12年3月までに、宮城県及び鹿児島県より肉用牛431頭導入されていたが、全頭異常認めず。

北海道

1 発生状況

- 平成12年5月11日、北海道中川郡本別町の肥育農家1戸（飼養頭数：乳雄、F1等705頭）において、2頭（乳雄7カ月齢）確認。
- 当該農場は、4月21日以降実施してきた農場隔離検査プログラムの対象となっており、再検査により本病ウイルスの遺伝子を確認。
- 発生農場では輸入粗飼料の台湾産稲わら、インドネシア産ケイソップを給与。
- 移動制限区域内の家畜飼養状況：133戸19,858頭。（内訳：乳用牛91戸10,165頭、乳肉複合11戸2,053頭、肉用牛30戸7,607頭、その他1戸33頭）

2 当面の防疫措置

- 当該農場の飼養牛全頭の殺処分（5月14日終了）、畜舎等の消毒、汚染物品の焼却等。
- 当該農場を中心として、半径10kmの範囲（本別町他4町）における家畜等の移動禁止。
- 移動制限地域内の農場及び疫学的に関連のある農場の調査。
14日までに、移動制限区域内にある農場の立入検査は終了し、全頭、臨床的に異常がないことを確認。また、約3,500頭の血清検査を実施中。

3 宮城県の防疫対応

- 5月11日午後5時45分、国からの通報により、家畜防疫緊急連絡先である各家畜保健衛生所や畜産関係団体等に通報。
- 5月12日、口蹄疫緊急防疫対策会議を開催（農林水産省畜産局長通達にもとづく口蹄疫の防疫対策の徹底。県内酪農家（1,230戸）への立入検査、情報収集及び注意喚起を指示）。
- 5月19日、移動等の禁止の告示（宮城県知事）。発生にかかる移動制限地域（半径10km圏内）から県内への移入禁止。
*北海道からの導入状況（平成11年4月～平成12年4月）813頭（乳牛534頭、肥育素牛279頭）
- 当分の間（北海道での移動制限解除時）、家畜保健衛生所を中心に立入検査や疫学調査を実施予定。（家畜改良衛生班長 佐々木和夫）

平成11年度生乳需給状況並びに平成12年度生乳需給調整対策について

経営1A201

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成11年度の生乳生産状況は、昨年度に引き続き乳牛飼養戸数、頭数が減少傾向にありましたが、7月半ばまでは、何とか前年度まで回復する兆しにありました。

しかし、7月終盤からの例年にならぬ猛暑等の影響により、急激に生産量が落ち込み、その後の回復が12月まで見られないまま推移した結果、生乳受託実績は173,413トンとなり出荷目標数量に対して8,598トンと過去にならぬ大幅な未達となりました。(別表1)

本県としては、8,598トンの未達になったものの、昨年度からの出荷目標数量の削減ペナルティーの除外許容範囲が緩和されたことから、平成12年度分から削減される未達ペナルティーは5,790トンとなりました。

また、需要においては飲用向市場は他飲料との競争が激化し、前年比93.6%と振るわなかったものは、酵乳等向けの拡大により、生乳需給が緩和状況にある中で、加工向けについても前年比93.5%と減少しました。(別表2)

更に、乳製品需要においては、昨年11月から乳製品の入札取引への移行に伴い国のパイロット市場が

立ち上げられましたが、脱脂粉乳は順調に応札されたものの、バターについては輸入ハイファットチーズ等の影響により、需要が低迷し、特に全国連(全農、全酪連)のバター在庫が積み増される結果となりました。

一方、平成12年度の出荷目標数量については、前年度に大幅な未達となったため、未達ペナルティー控除後の生乳計画生産出荷目標数量は175,920トンとなり対前年比は96.7%となりました。(別表1)

平成12年度も、生乳生産状況がこのまま低位で推移することとなれば需要期の生乳不足は勿論のこと、本県生産基盤の脆弱化が懸念されることから、是非とも目標数量達成に向けてご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、今年度は平成13年度に大きく変革しようとしている県内の酪農団体組織整備を始め、指定団体の広域化等、正念場に入ってきていることから本会会員と一丸となって取り組んでまいりますので、今後も皆様のご指導とご協力を重ねてお願い申し上げます。

(販売課長 安部 強)

別表1 平成11年度生乳計画生産達成状況及び平成12年度生乳出荷目標数量

(単位：トン、%)

生産者団体	平成11年度計画生産達成状況				平成12年度生乳出荷目標数量		
	受託数量	前年比	計画比	超過・未達乳量	平成12年度	平成11年度	前年目標比
蔵王酪農	31,208	97.71	96.40	▲ 1,166	31,832	32,374	
宮城酪農	49,883	96.67	94.73	▲ 2,776	50,596	52,659	
全農宮城	30,629	96.09	93.65	▲ 2,076	30,948	32,705	
仙台酪農	6,048	94.76	95.46	▲ 288	6,149	6,336	
県酪連	29,730	96.68	94.32	▲ 1,790	30,112	31,521	
栗原酪農	6,677	93.40	93.10	▲ 495	6,734	7,172	
登米酪農	6,724	98.92	101.58	104	6,740	6,619	
本吉酪農	5,370	98.03	98.35	▲ 90	5,512	5,460	
遠田酪農	5,847	99.48	99.74	▲ 16	5,971	5,863	
山田酪農	1,297	98.91	99.59	▲ 5	1,326	1,302	
合計	173,413	96.79	95.28	▲ 8,598	175,920	182,011	96.70%

別表2 平成11年度用途別販売実績

(単位：トン、%)

用途別	乳量	前年比	構成比
飲用向	123,497	93.6	71.2
生クリーム等向	7,404	121.9	4.3
はっ酵乳等向	11,123	140.4	6.4
チーズ向	1,401	116.3	0.8
加工向	29,988	93.5	17.3
計	173,413	96.8	100.0

参考 宮城県の酪農動向

項目	平成11年2月1日	平成12年2月1日
生乳出荷戸数	1,210戸	1,149戸
前年比	95.0%	95.0%
乳牛飼養頭数	34,383頭	32,895頭
前年比	97.5%	95.7%
経産牛頭数	25,248頭	24,315頭
前年比	98.1%	96.3%

平成11年度家畜共済事業実績について

NOSA | 宮城

平成11年度の家畜共済事業の引受並びに事故実績がまとまりましたので御報告いたします。

1. 引受関係 (表1)

引受頭数は合計で131,119頭となり、前年度より5,643頭の減少となった。このことについては、高齢化による畜産農家の廃業、畜産農家を取り巻く経済的、環境的問題が原因と思われる。

共済金額合計では214億1,757万円となり、前年対比で18億8,027万円の減少となった。この原因は畜産農家の生産物の価格低迷などによる、経済的な逼迫と家畜共済適正化による高齢牛の適正評価等が考えられる。

2. 事故関係 (表2)

死傷事故では損害防止に対し、各組合等が取り組んだものの、全畜種合計で5,806頭と前年対比で483頭増加しました。また、支払共済金では7億2,977万円となり、前年を7,633万円上回る支払となった。この背景には、夏場の猛暑による、乳牛の雌の事故が多発し前年より乳牛の雌で360頭、支払共済金で6,900万円の増加が考えられる。

事故多発疾病は (表3) に示すとおりであり、

乳牛では関節炎、乳房炎、ダウナー症候群が圧倒的に多く死傷全体の39%を占め、肥育牛では肺炎、心不全で31%、特定肉用牛では胎子異常、心不全、子牛虚弱症候群が48%を占め、例年とほぼ同じ傾向にあった。これらのことから群管理指導にウェイトをおいた損害防止の取組とワクチネーション等が今後の方策と思われる。

疾病事故は全畜種で62,345件、全畜種で前年対比3,371件減少した。支払共済金では前年度を1,700万円下回った。しかし、引受実績も年々減少していることから、疾病事故減少に関しての更なる分析が必要である。病傷事故の主要疾病は乳牛の雌では繁殖障害、乳房炎、周産期性疾患、特定肉用牛等では繁殖障害、子牛の腸炎、肥育牛では呼吸器疾患が多く経済的損失が甚大であることから、今後も関係機関、関係団体のご指導を頂きながら、群管理指導に努めるとともに、検診車、搾乳立会、繁殖巡回、ワクチン接種等を駆使し事故低減と農家の生産性の向上に努めてまいりたい。

(家畜部次長 武藤 昌文)

表1 平成11年度家畜共済引受状況

Table with 16 columns: Category, Target (Head, Amount, Avg), FY11 Actual (Head, Amount, Avg), FY10 Actual (Head, Amount, Avg), Change (Head, Amount, Avg), and Target Achievement Rate (Head, Amount, Avg %).

Advertisement for Bifidus (ビフィズス菌) yogurt, featuring the text '生きのまま腸までとどきます。' and 'ビヒダス ヨーグルト 500ml'.

Advertisement for Miyagi Dairy Milk, featuring the text '来客 接待に牛乳を!!' and '宮城県牛乳普及協会'.

Advertisement for Orion Dairy Farmers, featuring the text '酪農家の声を反映した製品づくりと安心のおけるアフターサービスはオリオングループの誇りです。' and '東北オリオン株式会社'.

表2 平成11年度家畜共済事故状況(3月末実績)

単位: 頭, 円

Table with 16 columns: 畜種, 死亡, 費用, 合計, 支払共済金, 請求保険金, 死亡, 費用, 合計, 支払共済金, 請求保険金, 増, 減, 合計, 支払共済金, 請求保険金. Rows include 乳牛の雌, 肥育牛, 特定肉用牛等, 一般馬, 肉用種雄牛, 豚, 肉, 合計.

●病傷事故

単位: 円

Table with 16 columns: 畜種, 件数, 支払共済金, 請求保険金, ほとん金, 技術給付金, 件数, 支払共済金, 請求保険金, ほとん金, 件数, 支払共済金, 請求保険金, ほとん金, 増, 減, 合計, 支払共済金, 請求保険金, ほとん金. Rows include 乳牛の雌, 肥育牛, 特定肉用牛等, 一般馬, 肉用種雄牛, 豚, 肉, 合計.

表3 平成11年度死傷事故主要疾病 Top10

平成11年度病傷事故主要疾病 Top10

●乳牛の雌

頭数ベース

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include 関節炎, 急性乳房炎, グラナー症候群, 心不全, 腰痛, 第四胃右方変位, 股関節脱臼, 第四胃左方変位, 熱射病, 慢性乳房炎, その他, 計.

●乳牛の雌

件数ベース

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include 急性乳房炎, 黄体遺残, 卵胎産腫, 卵巣停止, ケトosis, 関節炎, 第四胃左方変位, 第一胃食滞, 肺炎, 純性発情, その他, 県計.

●肥育牛

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include 肺炎, 心不全, 脂肪壊死症, 急性鼓脹症, 肝炎, 遠走神経性消化不良, 尿石症, 腰痛, 第四胃左方変位, 第四胃右方変位, その他, 計.

●肥育牛

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include 気管支炎, 肺炎, 腸炎, 肝炎, 胃腸炎, 骨軟症, 第一胃食滞, 遠走神経性消化不良, ビタミンA欠乏症, 関節炎, その他, 県計.

●特定肉用牛

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include その他の胎子異常, 心不全, 子牛虚弱症候群, 肺炎, その他の新生子疾患, 肺炎, 脂肪壊死症, 第四胃左方変位, 急性鼓脹症, 遠走神経性消化不良, その他, 計.

●特定肉用牛

Table with 11 columns: 疾病名, 県南, 宮城中央, 巨理名取, 六の国, 大崎, 栗原, 追地方, 石巻地方, 県計. Rows include 肺炎, 卵巣停止, 黄体遺残, 気管支炎, 卵胎産腫, 純性発情, 胃腸炎, 肺炎, 排卵遅延, 第一胃食滞, その他, 県計.

動物用医薬品 犬・猫用ノミ駆除剤 フロントラインスプレー. 新発売. 動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩 銚塩E100. 東北ゼンヤク株式会社. 〒981-3361 宮城県黒川郡喜谷町あけの平2丁目3-5. TEL 022-348-6791 FAX 022-348-6794

TEAM SUPER BOBLOADER スーパーボブローダ. 世界トップレベルの超静音音. 67dB(A) Clear. TCM 東北ディー・シー・エム株式会社. 本社・工場・仙台支店 宮城県仙台市宮城野区中野字茶町135-1. TEL (022) 259-6351内

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!! ルピックス 牛用混合飼料. アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化配合飼料. 農協 全農 | 経済連

平成11年度みやぎ総合家畜市場取引実績の概要

全農みやぎ家畜市場課

平成11年4月にみやぎ総合家畜市場が開設し、一年が経過致しました。

このみやぎ総合家畜市場は、平成7年からの家畜市場再編整備計画事業により既存の県内13家畜市場を1ヶ所に集約し、家畜取引の大量化及び広域化に対応するとともに、本県畜産振興の一つの拠点構想で建設されました。

新市場開設後の家畜取引実績は、統合による取扱い頭数増加の反面、生産頭数等の減少により畜種間に格差が生じました。

また、取扱金額では景気の低迷等による枝肉相場の影響を受け相場が低下している畜種もありました。しかし、主力の和牛子牛は、前年度県平均より高値となり全国でも上位の市場として位置付けられており、今後の本県の畜産振興において大きな力と成っています。

なお、平成11年度各畜種別市場実績を下記に示しました。

1. 和牛子牛市場

家畜取引実績の80%を占める和牛子牛市場は、市場統合による要因で取扱増となり、3月末実績で20,407頭（前年対比110.5%）となりました。また、価格も前年度より高値で推移しました。

2. 成畜市場

農協、家畜商組合との連携推進及び市場統合等

の要因により、3月末実績で14,096頭（前年対比139.0%）となりましたが、価格は相場低迷により大きく下落致しました。

3. 豚市場

生産頭数の減少により、3月末実績で14,161頭（前年対比84.0%）と大きく減少致しましたが、価格は前年並みで推移しました。

4. 肥育牛市場

家畜商組合との連携推進により取引頭数537頭（前年対比94.8%）となっておりますが、現状の環境を踏まえれば順調に推移しました。また、価格は前年度よりも高値で推移しました。

5. 和牛2才市場

生産農家の減少に伴い当初予定していた頭数が確保できず30頭（前年対比65.2%）と大きく減少しましたが、価格は前年並みとなりました。

また、平成11年8月より休場とし、年3回開催に変更致しました。

6. F1市場

生産農家の減少に伴い当初予定していた頭数が確保できず36頭（前年対比14.8%）と大きく減少しました。価格は相場低迷から安値で推移しました。

また、平成11年7月より休場とし、成畜市場の中にF1の部を新設して開催しております。

(家畜市場課長 佐藤 和文)

みやぎ総合家畜市場実績（平成11年度）

1. 畜種別取引額

(単位：円)

区分	子牛	成畜	共励会	F1	和牛2才	豚	計
4月	702,370,200	114,662,100	116,726,400	2,196,600	2,625,000	33,833,835	972,414,135
5月	672,050,400	105,702,450	0	1,062,600	1,021,650	24,726,345	804,563,445
6月	727,883,100	97,272,950	55,052,550	467,250	1,021,650	20,500,305	902,197,805
7月	647,182,200	121,336,425	0	0	1,185,450	18,057,375	787,761,450
8月	542,825,850	74,599,875	41,405,700	0	0	17,424,645	676,256,070
9月	486,852,450	96,424,175	0	0	0	22,477,980	605,754,605
10月	510,728,400	125,145,300	41,305,950	0	0	19,027,575	696,207,225
11月	684,573,750	129,317,475	0	0	6,213,900	19,719,000	839,824,125
12月	785,268,750	119,139,300	87,459,750	0	0	19,083,015	1,010,950,815
1月	661,042,200	124,962,600	0	0	0	20,098,260	806,103,060
2月	738,592,050	139,051,500	31,010,700	0	3,147,900	20,795,565	932,597,715
3月	876,594,600	211,785,000	0	0	0	26,249,265	1,114,628,865
合計	8,035,963,950	1,459,399,150	372,961,050	3,726,450	15,215,550	261,993,165	10,149,269,315
月平均	669,663,663	121,616,596	62,160,175	1,242,150	2,535,925	21,832,764	845,771,610

2. 畜種別取引頭数

(単位：頭)

区分	子牛	成畜	共励会	F1	和牛2才	豚	計
4月	1,975	986	149	21	6	1,411	4,548
5月	1,824	1,001	0	12	3	1,335	4,175
6月	1,880	992	79	3	4	1,289	4,247
7月	1,763	1,287	0	0	3	1,066	4,119
8月	1,412	876	69	0	0	1,099	3,456
9月	1,196	1,124	0	0	0	1,288	3,608
10月	1,269	1,356	62	0	0	1,184	3,871
11月	1,579	1,301	0	0	8	1,245	4,133
12月	1,839	1,209	127	0	0	1,110	4,285
1月	1,560	1,236	0	0	0	1,196	3,992
2月	1,815	1,162	51	0	6	1,007	4,041
3月	2,255	1,568	0	0	0	1,035	4,858
合計	20,367	14,098	537	36	30	14,265	49,333
月平均	1,697	1,175	90	12	5	1,189	4,111

3. 子牛市場月別成績

(単位：頭：円)

区分	入場数	取引数	取引率	平均価格(吨)	平均価格(法勢)	総平均価格	取引金額
4月	2,007	1,975	98%	309,527	396,410	355,630	702,370,200
5月	1,844	1,824	99%	327,510	402,708	368,449	672,050,400
6月	1,892	1,880	99%	336,509	431,564	387,172	727,883,100
7月	1,778	1,763	99%	331,527	397,032	367,091	647,182,200
8月	1,428	1,412	99%	345,585	415,828	384,438	542,825,850
9月	1,214	1,196	99%	372,508	435,495	407,067	486,852,450
10月	1,277	1,269	99%	359,528	436,814	402,465	510,728,400
11月	1,588	1,579	99%	384,634	474,549	433,549	684,573,750
12月	1,850	1,839	99%	386,617	461,269	427,009	785,268,750
1月	1,577	1,560	99%	379,793	460,661	423,745	661,042,200
2月	1,838	1,815	99%	350,973	453,866	406,938	738,592,050
3月	2,288	2,255	99%	339,641	429,437	388,734	876,594,600
累計	20,581	20,367	99%	4,224,352	5,195,633	394,558	8,035,963,950
累計平均				349,884	432,129	394,558	
雌	9,451	9,304	98%	349,883		46	3,255,318,150
去勢	11,130	11,063	99%	432,129		54	4,780,645,800

4. 子牛市場地区別成績

(単位：頭：円)

生産地区	入場数	取引数	取引率	平均価格(吨)	平均価格(法勢)	総平均価格	摘要
遠田・仙南	5,343	5,243	98%	340,613	418,970	383,535	
栗原・加美	4,726	4,687	99%	355,735	432,296	396,686	
石巻・玉造	4,661	4,603	99%	359,246	440,291	404,161	
登米	5,851	5,834	100%	346,184	437,413	395,176	
合計	20,581	20,367	99%				



5. 子牛市場別県外移出実績 (11年度)

みやぎ総合家畜市場

県区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	10年度
山形県	422	347	388	424	342	300	267	357	391	368	366	435	4,407	4,789
徳島県	28	96	55	91	16	9	106	19	23	40	14	83	580	590
茨城県	64	46	69	6	77	17	9	35	17	16	12	27	395	572
千葉県	29	51	20	16	23	43	24	44	21	18	30	52	371	335
福島県	30	0	21	39	29	48	25	25	11	26	19	29	302	361
栃木県	41	51	36	7	18	12	43	4	33	105	25	17	392	209
長野県	14	25	60	35	5		39	34	0	14	14	32	272	502
岐阜県	24	21	60	0	19	12	22	0	19		23	0	200	161
新潟県	18	38	16	0	39	19	8	10	23		8	43	222	307
岩手県	17	7	17	0	32	10	9	19	12	3	15	7	148	280
三重県		18	7	17	0	40		17	139			11	249	101
東京都			4	28	33	4	8	12	24	4	12	12	141	20
神奈川県		12	39	4	11			20	6	8	13	9	122	111
青森県			15	18	11	12			15			0	71	37
静岡県		30		25	0		20	22	28		43	0	168	77
群馬県	8	6		30	8	0	22	21		35	17	7	154	124
愛知県		23		0		22		0		22			67	68
兵庫県		15		15	0	5	20	0		15			70	234
埼玉県	8	8	13	0	0								29	57
滋賀県	27			0									27	44
秋田県				12	0		3						15	0
北海道		1	3	1	0	1	1		1	3			11	25
広島県				5									5	0
富山県				0									0	0
奈良県				0			13					27	40	22
香川県				0									0	0
県外合計	730	795	823	773	663	554	639	639	763	677	611	791	8,458	9,026
取引頭数	1,975	1,824	1,880	1,763	1,412	1,196	1,269	1,579	1,839	1,560	1,815	2,255	20,367	21,338
県外比率	37%	44%	44%	44%	47%	46%	50%	40%	41%	43%	34%	35%	42%	42%

正統の育ちと味

仙牛®

仙台牛銘柄推進協議会

仙台市青葉区上杉1-2-16 全農みやぎ畜産課内 TEL 022(264)8450

WORLD 世界の

株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4
電話(022)236-2525(代表)

畜産振興の明日を
担う地方競馬

地方競馬全国協会

平成12年度畜産関係主要行事予定

宮城県畜産会

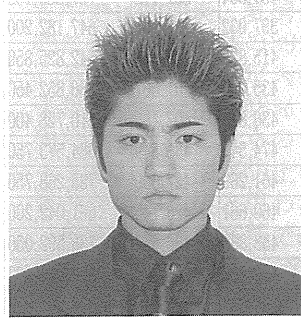
期	日	行事名	場所	主催者
6月	19~23	会計検査第3課	県内	
7月	下旬	牛乳乳製品料理教室	仙台市市民会館	宮城県牛乳普及協会
8月	中旬	親子夏休み体験学習	県内	宮城県牛乳普及協会
9月	上旬	宮城県総合畜産共進会(肉豚)	宮城県食肉流通公社	宮城県畜産会
	1~4	第5回東日本和牛能力共進会	山形県	東日本和牛改良協議会
	下旬	第13回東北地区牛削蹄競技会	宮城県	東北地区装削蹄師会
10月	下旬	牛乳料理コンクール県大会	仙台市市民会館	宮城県牛乳普及協会
	上旬	宮城県総合畜産共進会(乳用牛・肉用牛)	みやぎ総合家畜市場	宮城県畜産会
10月	28~29	ミルクランドフェア	宮城台公園	宮城県牛乳普及協会
	2~5	第11回全日本ホルスタイン共進会	岡山県	日本ホルスタイン登録協会
11月	上旬	仙台牛枝肉共進会	仙台中央食肉卸売市場	全農宮城県本部
	中旬	牛乳乳製品料理教室	仙台市市民会館	宮城県牛乳普及協会
1月	下旬	宮城県家畜保健衛生業績発表会	仙台市	宮城県畜産課
	上旬	宮城野豚枝肉共進会	宮城県食肉流通公社	宮城県宮城野豚銘柄推進協議会
3月	下旬	春休み子供料理教室	仙台市市民会館	宮城県牛乳普及協会
	下旬	第98回日本畜産学会大会	仙台市	日本畜産学会



実践大学在校生及びOBの抱負

「ホテル瑞穂寮」

宮城県農業実践大学校畜産学部 2年 三浦 誠



「やっぱり古川の寮は最高だなあ。」

こんなことをいいながら4月10日瑞穂寮での生活が始まった。今まで生活ついていた名取の寮(箕輪寮)となんか比べものにならないすごさである。その中のいいところ

を何点かあげてみよう。

1. 風呂のシャワーが痛いくらいの水圧である。(名取はちよろちよろ)
2. 冷暖房完備が最高!!
3. 階段、廊下がカーペット。裸足でもOK!!
4. 部屋の床がフローリング。まるでマンションのよう。

以上

このようなことをみんなでいいながら、男だらけの生活を楽しみながら、実習や勉強を頑張っています。

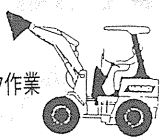
5月15日から1週間、1年生が来て一緒に生活し、勉強をしていきます。私達の経験上、古川に初めて来たときは先輩達とすぐには仲良くなれなかったもので、私達の方から積極的に話しかけたり、解らないことがあり困っていたら先輩としてやさしく教えてあげたいと思います。

私達も2年生になり、みんなともいろいろ話をしていますが、たまに出てくる話題は、卒業後なにをするかということです。大体の人は就農するといっていますが、A君は「おら、農協でかしぐど。」とか、B君は「1~2年は研修してがらいちご作っかな〜。」C君は「俺は、家でべごあづがいですってば!!」というふうな人もいます。

将来、農業をやっていく中で、今は大事なステップを踏んでいる時なので、この寮での生活を無駄にすることなく、これからも実習や勉強をみんなと一緒に頑張っていきたいと思います。

KOMATSU

カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業



コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区馬町二丁目1の30
電話(022)(237)7441番(代)

●効能・・・粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母

Ferment Feed
ピタコーゲン

株式会社セイフ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL(022)215-3112
FAX(022)213-7190

〈畜試便り〉

食品廃棄物を利用した豚の肥育試験

宮城県畜産試験場

現在の食料消費においては、大量の食べ残しや廃棄がでるなど食料資源の浪費や無駄が見られます。年間の食品廃棄物量は1,800万トンにも上り、そのほとんどが焼却されている状況にあります。平成14年には食品メーカーや事業系生ゴミのリサイクルを推進するため、大企業を対象に出した食品ゴミを肥料や家畜飼料にするよう義務づける食品廃棄物リサイクル法が施行される見込みです。このような中、コンビニエンスストアの弁当廃棄物を肥育豚に給与し、肥育の影響について試験したのでその概要を紹介いたします。

【材料と方法】

供試豚はデュロック種去勢12頭で、飼料はコンビニ弁当廃棄物及び市販肥育用飼料を利用し、弁当廃棄物リサイクル飼料は高エネルギーによる厚脂や高脂肪による軟脂の影響を考え、市販飼料に30%配合することとしました。試験区は体重30kgから105kgまでの全期間リサイクル飼料を給与する試験区1、30kgから70kgの期間だけリサイクル飼料を給与する試験区2、並びに全期間市販飼料を給与する対照区の3区を設定し、単飼、不断給餌、自由飲水で飼養しました。

【結果】

1) 飼料成分

リサイクル飼料にはコンビニエンスストアからでた生ゴミを70℃で4時間程度温風乾燥したもので、成分については水分23.3%、粗脂肪9.6%、粗蛋白質20.5%と市販肥育用飼料と比較して水分、粗脂肪がかなり高く、粗蛋白質もやや高い傾向にありました。

2) 肥育成績

肥育成績については、一日平均増体重、飼料要求率、背脂肪厚のいずれについても有意差は認められませんでした。背脂肪厚が試験区で若干厚い傾向にありました。

3) 肉質成績

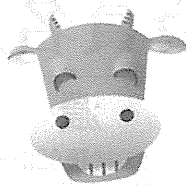
肉質成績については、保水性、肉色、柔らかさなどにおいては差が認められませんでした。筋肉内脂肪では試験区1・2が有意に低い値となりました。これは、高タンパク飼料給与により筋肉内脂肪が低減されるという既報告と一致します。また、軟脂の要素となる脂肪酸の不飽和度について測定したところ、試験区1が対照区より有意に高い不飽和度を示し、軟脂になりうる可能性が示唆されました。

【まとめ】

リサイクル飼料の肥育豚への給与は若干軟脂への懸念されるものの、その他の成績にほとんど影響がなく、30%程度の給与であれば問題がないことが示されました。また、今回は市販飼料と配合したため粗脂肪含量が高くなってしまったので、パンくずや麦類などの配合にすれば適正な粗脂肪含量となり、軟脂にもならないと考えられます。今後は防腐剤等の残留についても検討しなくてはなりません。今回の試験でその有用性が確認され、資源の有効活用ばかりではなく、国内飼料自給率の改善、生産コストの低減にもつながっていくと思います。

(種豚家きん部 技師 柴田 知也)

	試験区1	試験区2	対照区
肥育成績			
1日平均増体重 (kg/day)	948.1±60.6	945.3±75.8	946.4±145.8
飼料要求率	2.985±0.25	3.005±0.17	2.864±0.17
背脂肪厚 (体長1/2部位)	26.25±3.23	26.25±1.55	23.38±3.17
背脂肪厚 (最後胸椎部位)	25.13±3.71	25.13±2.25	20.50±1.87
肉質成績			
ドリップロス (48h)	4.28±1.55	3.10±0.17	4.88±1.96
加熱損失率	24.8±0.96	24.2±3.74	25.0±3.83
肉色 (第5-6胸椎間)	2.75±0.65	2.50±0.41	2.88±0.63
(最後胸椎部位)	3.13±0.85	3.25±0.29	3.13±0.48
筋肉内脂肪	3.43±0.60*	3.40±0.40*	5.06±1.39*
テンダーネス	76.23±15.87	69.82±5.06	70.09±7.54
不飽和脂肪酸割合 (脂肪外層)	61.98±1.74*	60.60±1.21*	59.20±1.06*
(脂肪内層)	58.05±1.68*	56.22±1.28*	54.44±0.95*
(筋肉)	59.42±2.22	59.82±1.63	58.99±0.93



肉の日

毎月29日は肉の日です



お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会

〒981-1224 名取市増田字柳田379-1 (社団法人・宮城県畜産会内)

電話 022-382-8133

<衛生便り>

豚コレラ撲滅を契機に衛生管理の徹底を！

仙台家畜保健衛生所

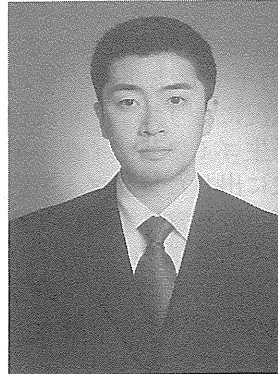
平成12年3月25日、宮崎県下に於いて発生した口蹄疫は、各関係機関の迅速な対応により、早期摘発、淘汰が行われ、清浄性の確認が行われています。早期の摘発が可能であったことの大きな理由として、本疫病に対するワクチンが使用されておらず、抗体検査により疫病の感染を確認することができたことが挙げられます。ワクチンを用いない防疫体制の移行を目指し、平成8年度から始まった豚コレラ撲滅対策事業も平成12年度から全国的にワクチンの接種中止をし、監視体制の強化と早期通報体制の確立をする第3段階の防疫体制に移行しようとしています。本県に於いても平成12年4月から第3段階に移行し、防疫体制の強化を図っているところですが、本疫病撲滅の為に、なにより畜産農家の皆様の獣医師や家畜保健衛生所に対する通報が重要です。農水省では以下のような指針を示しております。①発熱、元気消失、食欲減退②便秘次いで下痢③結膜炎（目ヤニ）④歩行困難、後駆麻痺、痙攣⑤耳翼、下腹部、四肢などの紫斑⑥削瘦、被毛粗剛（いわゆる“ひね豚”）⑦異常産の発生⑧以上のいずれかを伴う死亡が通常に比べ増加したと思われる場合です。更に消毒等の一般衛生管理の徹底も求められています。これまで、ワクチン接種をしているという安心感から農場内外の消毒がおろそかになっていないでしょうか？食中毒予防に①つけない②増やさない③殺菌するという三原則があります。外部から病原体を持ち込まない為にも「手洗い」ならぬ「足洗い」踏込消毒槽の設置、豚舎内での長靴等の履替励行、豚舎の清掃消毒が肝心です。時代はデジタルですが、基本はアナログです。豚コレラ撲滅を契機に衛生管理と常日頃の観察を見直してみたいかがでしょうか？

(病性鑑定班 齋藤 裕)

<新人紹介>

迫家畜保健衛生所

真鍋 智



今年4月から迫家畜保健衛生所に勤務することになりました。真鍋智（まなべさとし）です。先日、クリーニング屋のおばさんに、「あら、珍しい名前ね」と言われましたが、それもそのはず、生まれは母の里岩手県、育ちは父の里香川県という「東北と四国のハーフ」です。

学生時代を青森県十和田市にキャンパスがある北里大学で過ごしたことで、子供の頃からあこがれていた四国香川県にはない明確な四季の変化と、雄大な自然に恵まれた東北の地での生活に対する思いがより一層強くなったので、東北の中でも一番自分の性格に合っているのは宮城県だと思い、この地で独立することに決めました。

酪農家である母の実家の影響もあって、獣医師として家畜伝染病のまん延を調査、防止することで、家畜の安全を守り、畜産農家の損失を少しでも防ぐ仕事が出来たらと思って希望を出したところ、幸いにも希望通り家保の防疫班に勤務することになりました。

しかし、今年3月に大学を卒業し、獣医師免許を取得したばかりの新社会人である私には、やることなすこと初めての経験ばかりなので、今は職員の方々から指導を受けながら自分の仕事に取り組んだり、豚や牛の保定や採血、農家の方々への指導の様子などを見て知識の確認やテクニックを勉強する毎日です。

働き始めて1か月とまだまだ頼りない私ですが、1日1日経験を積んで実力を付けていこうと思いつつ仕事を励んでいます。これから農家の方々と一緒に仕事をしていく役場や農協などの方々と話合せて、宮城県の畜産の発展に貢献できる人材に早くなれるよう頑張っていきますので、今後とも御指導並びに御鞭撻よろしくお願い致します。

宮城県動物薬品器材協会 (会員名)

(株) タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3-3-8 TEL022-225-7330	(株) 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31-14 TEL022-245-4306
(株) エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2-10-3 TEL022-284-8111	小 田 島 商 事 (株) 古川市清水字周防10-1 TEL0229-26-4567
(株) ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9-1 TEL0229-24-3211	(株) ニ 子 工 一 仙台市若林区卸町東1-8-20 TEL022-232-9755